

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野市開発公社						
①	指 標 名	イースト吉祥寺まちづくり活性化事業			目 標 値	地区の協議会活動が充実できるように支援を強化する	実 績 値	地区計画等のまちのルールづくりの実現へ一歩前進した
	過 去 の 実 績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達 成 率		達 成 状 況	未実施・未達成 達成
	(単位:)							
	取 組 内 容	<p>※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①平成18年1月に吉祥寺東部地区活性化懇談会を立ち上げ計14回、その後、吉祥寺東部地区まちづくりルール検討協議会として9回の論議を積み重ね、事務局及びアドバイザーとして「地区計画」の制度化に向けた活動を支えた。具体的には、アンケートの実施、まちづくりニュースの発行(3回)、11月のオープンハウスの開催などである。</p> <p>②東部地区の活性化のため、共同ビル化に向けた呼びかけや地権者の組織化を進め、3つのブロックでその具体化を進めた。</p> <p>③元氣市などのイベントへの協力など、吉祥寺東部地区街づくり協議会、ベルロード維持管理協議会及びみその通り維持管理協議会などの行うまちづくり活動に対して、吉祥寺まちづくり事務所などと連携して、支援・協力を行った。</p>						
業 評 価	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①地域のまちづくりのルールとなる「地区計画」の策定の母体となる、吉祥寺東部地区まちづくりルール検討協議会を立ち上げることができた。</p> <p>②その事務局及びアドバイザーとして、アンケートの実施、まちづくりニュースの発行、オープンハウスに開催等、具体的な活動を実施した。</p> <p>③以上、地区計画等のまちのルールづくりの実現へ一歩前進することができた。</p>						
	二 次 評 価	<p>●開発公社は吉祥寺をはじめとした市内のまちづくりの支援や活性化に関する事業を行うことを目的とした財団法人である。特に、イースト吉祥寺のまちづくりには力を入れており、地域の各種協議会の事務局を務めるなど、地域活動を支援し、一定の成果を挙げていると評価できる。</p> <p>●今後は、公益法人制度改革等が予定されていることもあり、市との役割分担、団体や事業のあり方などをしっかりと整理しておく必要がある。</p>						
	指 標 名	都市活性化助成事業			目 標 値	14,550千円	実 績 値	15,430千円
①	過 去 の 実 績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達 成 率	106.0%	達 成 状 況	未実施・未達成 達成
	(単位: 千円)	15,650	18,100	14,550				
	取 組 内 容	<p>※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>都市活性化事業助成金の交付対象事業は①まちづくりのための調査・研究、②伝統文化の振興、育成、③市民の交流として、各種シンポジウム、フェスティバルの開催、④人づくりとして、まちづくりリーダー、後継者育成、⑤その他まちづくりの趣旨に沿う事業で、地域の発展、活性化に資する事業である。</p> <p>これまでの、吉祥寺ウェルカムキャンペーンなど11の事業に加え、地域の活性化を促進する上で効果があると認められる事業として、ハモニカ秋まつり子供神輿の取り組みと南北一体化を目指した武蔵境ピクニックイベントへ新規に助成を行った。</p>						
	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①平成18年度は新たに2つの事業に助成し、活動を支援することができた。</p>						
二 次 評 価	<p>●地域の活性化のために、地域のイベントなどに補助金を出し、支援を行っている。</p> <p>●18年度には、新たに2つの事業の助成を行い、年度当初の目標を達成した。それぞれの事業への助成した効果等の検証を行い、補助金が既得権化しないように留意する必要がある。</p>							
②	指 標 名	事業基盤の安定と財政力の充実			目 標 値	1,335,618千円	実 績 値	1,331,391千円
	過 去 の 実 績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達 成 率	99.7%	達 成 状 況	未実施・未達成 達成
	(単位:)	936,648	1,238,170	1,340,514				
	取 組 内 容	<p>※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①FFビルA棟店舗リモデル事業により、昭和47年のオープン以来、初めてA棟1階及び地下1階の業種・業態構成の大規模な変更を実施した。その結果、3階に1店舗、1階に6店舗、地階に5店舗の計12店舗が新店舗として出店し、リニューアルの11店舗と合わせ、11月1日にグランドオープンすることができた(店舗数は3月末のもの)。</p> <p>②同ビル3階屋上には武蔵野の雑木林をイメージした「吉祥空園sora」をオープンさせ、吉祥寺の新しい憩いの場として多くの方にご利用されている。また、1階エレベーター前には、東京・武蔵野ロータリークラブ創立50周年事業の記念として「からくり時計」の寄贈を受け、こども吉祥寺の新たなスポットとなった。</p>						
業 評 価	一 次 評 価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①目標値は不動産賃貸収入の予算額であるが、FFビルA棟店舗リモデル事業により新テナントの入居のずれによる減収分により、若干目標値へは未達となったが、概ね目標値に達したと評価できる。</p> <p>②メインテナントである伊勢丹吉祥寺店については、11月以降5ヶ月間の売上高は前年比3%の増となっている。</p> <p>③通行量調査の結果では、昨年4月とグランドオープン後の11月の比較で、例えばコンコース前で約4割増となっている。</p>						
	二 次 評 価	<p>●不動産収入を中心に開発公社の財政基盤は安定している。</p> <p>●FFビルの耐震改修・リニューアル工事の関係で、事業収入としては当初の目標には届かなかったが、「吉祥空園sora」をはじめ、吉祥寺の新たなシンボルづくりに貢献するなど、地域のまちづくりには大きな役割を果たしたと評価できる。今後とも安定した財源の確保に努めてほしい。</p>						
	指 標 名	事業基盤の安定と財政力の充実			目 標 値	1,335,618千円	実 績 値	1,331,391千円

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野市開発公社							
③ 人 事 組 織	指標名	職員研修の充実				目標値	○職員の通信教育講座の実施 2名	実績値	○職員の通信教育講座の実施 2名
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成	
	(単位:)		通信教育 2名 派遣研修 2名	通信教育 2名 派遣研修 1名					
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○市が職員研修としてプログラムしている「通信教育コース」から、民法コースと財務分析コースを選び受講させた。うち1名は受講期間が平成19年1月から8月までのため、現在も継続して受講している。							
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ① F F ビルの耐震改修・外装リニューアル事業及びA棟店舗リモデル事業等により、業務が繁忙期であったが、なんとか平成19年1月より通信教育を受講させることができた。 ② 固有職員の定数減により、この4月から5名体制となったため、派遣研修を実施することは困難となっており、それ以外の手法を検討する必要がある。								
二次評価	●当初の目標どおり、職員の通信教育の研修を実施している。今後とも、計画的に人材育成に努めるとともに、効率的な組織づくりを進めてほしい。								